

平塚市学校給食の歴史

平塚市学校給食の沿革

平塚市では、学校給食を小学校の教育計画の中で重要施策として、逐次施設設備と内容の充実をはかっており、昭和25年にパン給食、昭和36年には市内の全小学校で給食を開始し、児童の健康増進と間接的には地域社会の食生活の改善に多大な成果をあげてきました。

しかしながら、次第に各校とも調理場施設設備の老朽化に加え、児童の急激な増加に伴う施設の狭あい化のため、これらの対策として共同調理場方式を採用し、昭和47年に東部学校給食共同調理場を、更に昭和50年には北部学校給食共同調理場を開設し、学校給食の整備を順次はかってきました。

現在は小学校28校のうち、共同調理場で21校、単独調理場7校で給食を実施しています。また、中学校15校においては、牛乳給食を実施しています。

年 度	内 容
昭和 22年	ミルク給食の開始 松原、富士見、港、崇善、花水の各校が父兄、教師の奉仕により調理室を仮設整備、燃料、食器など不十分な中で、ラウ物資による脱脂粉乳給食を始める
23年	給食優良校県表彰される 富士見小学校
25年	パン給食開始、完全給食が始まる 学校給食が教育に位置づけられ給食の主管が教育委員会に移る。栄養士1名が採用され巡回指導にあたる。調理員も大幅に増員される
26年	学校給食実施方針の通達が出され、週5回の完全給食の方向が示される 各校専任栄養士の配置で給食内容の充実が図られる。パン工場も県指定がされる。
27年	給食室完成 松原小学校 給食室完成 港小学校 給食優良校県表彰される 崇善小学校
28年	給食室完成 富士見小学校、花水小学校
29年	学校給食法が成立公布される 国の施設設備の補助、給食の実施目的の確立、経費の負担区分を明確化し、父兄負担が大幅に軽減される 旭小学校給食開始、城島小学校、松原小学校A型給食開始 城島小学校、農村の学校給食研究校に指定される
30年	城島小学校、農村地域完全給食A型モデル校に指定される
31年	給食室完成 神田小学校 富士見小学校の児童が小遣いなどで、食器洗浄機を贈る
32年	給食優良校文部大臣表彰される 城島小学校 給食優良校県表彰される 富士見小学校 給食室完成 旭小学校、崇善小学校、岡崎小学校、中原小学校
33年	給食室完成 大野小学校、金目小学校 小教研給食部会が設置され、「学校給食指導の手引き」を作成 以後44、49、55年と改訂され給食指導役立っている
34年	給食室完成 豊田小学校
35年	給食室完成 土屋小学校 給食優良校県表彰される 崇善小学校
36年	給食室完成、金田小学校、吉沢小学校、総経費409万円 2月から市内16校全部が完全給食となる。 燃料が石炭から重油に切り替わる

	37年	中学校の牛乳給食開始 栄養所要量基準改訂される
	38年	給食調理員は全部市費正規職員に切りかえられる。
	39年	給食費はすべて食材料に、諸経費は市負担とする基本姿勢がきまる
	40年	給食優良校県表彰される 崇善小学校
	42年	学校給食20周年記念展開催される 市学校給食会発足
	43年	小学校学習指導要領改訂で、給食は「特別活動」の内容にある「学級指導」に位置づけられる 給食優良校文部大臣表彰される 崇善小学校
	44年	混合乳から生乳に切り替えられる 崇善共同調理場開設（崇善、豊田、金田）3校の給食を担当 同9月から、旭、横内小学校を加え5校となる 給食優良校県表彰される 大野小学校
	45年	給食優良校県表彰される 土屋小学校 共同調理場建設準備室設置される
	46年	大野小学校共同給食試行、大野と八幡小学校の2校給食となる
	47年	東部共同調理場開設、富士見、中原、豊田、八幡、神田、横内、金田の7校に配食 大野は単独校となる 東部共同調理場に栄養指導センターを併設、学校やPTA対象の食教育を行う（料理教室開催、指導資料の貸出しなど） 共同調理場物資選定委員会発足、良質で安価な物資供給を目的とした
	48年	港、城島、南原の各校は東部共同調理場に吸収され、金田小は崇善共同調理場へ変更
	49年	給食優良校県表彰される 八幡小学校
	50年	北部共同調理場開設、大野、真土、岡崎、金目、相模、城島、神田、横内、豊田、金田の10校に配食 東部共同調理場は、港、花水、なでしこ、松ヶ丘、旭、勝原、中原、八幡の8校 崇善調理場は、崇善、富士見、南原となる 給食優良校県表彰される 横内小学校
	51年	米飯給食が制度化される 本市においても試行
	52年	給食優良校県表彰される 城島小学校
	54年	3単独校調理場新設 松延小学校、港小学校、富士見小学校 （用地確保の困難、排水関係の規制、交通事情の悪化、児童数の増などから） 大野、真土は、東部共同調理場へ 旭は、崇善調理場へ
	55年	東部共同調理場で約1年間、湘南養護学校の給食を行う
	56年	米飯給食対策協議会を発足させる
	57年	2単独校調理場を新設 花水、勝原小学校 本格的な米飯給食始まる 東部調理場に豊田、城島、南原小が担当 石けん洗剤使用検討始まる
	58年	山下小単独調理場新設 松原小、東部共同調理場へ
	60年	崇善共同調理場閉鎖、崇善、旭小学校は東部共同調理場へ吸収 豊田、城島は北部共同調理場へ
	61年	栄養基準量改定される
	62年	全給食施設、石けん洗剤に切り替わる 学校給食40周年記念展開催
平成	元年	給食百周年文部大臣表彰 杉山和代栄養士 小宮ヒロ子調理員 崇善小学校給食調理場新設

2年	吉沢小学校舎が完成180人収容可能な食堂を新設（7月） 給食費改正（2900⇒3200円）（11月）
3年	牛乳がビンから紙パックへ トレーが導入される
6年	商業観光課主催「平塚の食文化」展に出展（3月） 学校給食展（10月）
7年	給食費が口座振替となり手数料は公費負担となる
8年	大阪で0-157による大規模食中毒発生によって生野菜の使用を禁止
10年	給食担当が機構改革により、学校教育部学務課から教育総務部学校給食課へ 文部大臣表彰今井伊佐子栄養士 給食費改正（3200⇒3400円）
13年	真土小が東部共同調理場から北部共同調理場へ、土屋小が北部から東部へ担当替わる BSE発生 牛肉の使用を中止 花水小に生ごみ処理機導入（1月）
14年	牛肉使用再開（1月） 北部共同調理場で強化磁器食器導入へ（金目、横内小） 地産地消の推進始まる サッカーワールドカップ日韓合同開催にて平塚をキャンプ地としたナイジェリアの料理を給食に出す
15年	海外産冷凍野菜から残留農薬が検出され、国内野菜にシフトする 米飯給食週2回へ（1月） 金旭中と横内中で業者弁当販売導入（ともに平成19年度まで）
16年	二学期制が試行される 金目中と江陽中（ともに平成19年度まで）、旭陵中（平成20年度まで）、浜岳中で業者弁当販売導入
17年	北部共同調理場で全校強化磁器食器を導入 食育基本法が制定 東部共同調理場でPEN食器を導入 アスベスト問題でアスベストを使用した機器を入れ替える 春日野中で業者弁当販売導入（平成19年度まで）
18年	二学期制導入 太洋中で業者弁当販売導入
20年	栄養教諭配置される（花水小） 給食費改正（3400⇒3700円） 崇善小で強化磁器食器導入 40周年を記念して市民プラザで学校給食展を開催
21年	富士見小で強化磁器食器導入 牛乳パックリサイクルの導入準備を始める インフルエンザの流行で給食費の返金問題で給食費徴収要綱を検討
22年	学校給食費徴収要綱を4月施行 小中学校全校で牛乳パックリサイクルを開始 花水小学校で初めて平塚漁港で水揚げされたサバを学校給食で使用 （漁業関係者による授業とふれあい給食の実施） 花水小学校が学校給食優良校として表彰される 「中学生自分で作るお弁当コンテスト」を開催 やまゆりポーク生産者協議会よりやまゆりポーク80kg 寄贈 北部調理場受配校へ使用（生産者と岡崎小学校でふれあい給食を実施）

	<p>学校給食ありかた検討委員会発足（以後学校給食検討委員会となる） （1月に御殿場市給食センター視察）</p> <p>23年 3.11東日本大震災 *当日、崇善小にて帰宅困難者に対して、1000個のおにぎりを提供 *計画停電の実施に伴い、献立変更などを行い、給食終了日まで給食は提供した</p> <p>学校給食検討委員会発足（23、24年度で共同調理場、中学校給食、磁器食器について検討を行う）</p> <p>やまゆりポーク生産者協議会より港小学校へやまゆりポーク30kg 寄贈（ふれあい給食実施）</p> <p>崇善小学校が学校給食優良校として表彰される</p> <p>第2回「中学生自分でつくるお弁当コンテスト」を開催</p> <p>磁器食器のリサイクルを開始（株）おぎそが送料負担3円/kgでリサイクルを受ける）</p> <p>東部・北部耐震診断を実施 （診断途中でボイラー煙突にアスベストの使用が確認され、東部は23年度内に煙突の改修工事実施、北部は24年度に実施）</p> <p>県費栄養士へPCを設置</p> <p>給食管理用栄養ソフト「コーエイコンピュータ `EIBUN`」の導入</p> <p>給食提供食の放射性物質検査を開始</p> <p>24年 港小金環日食メニュー（TV8社、新聞5社の取材あり）の実施</p> <p>第3回「中学生自分でつくるお弁当コンテスト」を開催</p> <p>やまゆりポーク生産者協議会より松延小学校へやまゆりポーク30kg 寄贈（ふれあい給食実施）</p> <p>調理員が中心となって「ベジ太(平塚農産物を地産地消するためのPRキャラクター)シリーズメニュー」を作成 市内全校で実施</p> <p>松延小学校が学校給食優良校として表彰される</p> <p>給食費生活保護費からの代理納付（6月）始まる</p> <p>25年 第4回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」</p> <p>学校給食展開催（10/19）</p> <p>やまゆりポーク生産者協議会、平塚畜産協会より吉沢小学校を含む東部調理場へやまゆりポーク60kg 寄贈（ふれあい給食吉沢小学校で実施）</p> <p>JA湘南より全校に11、12月に平塚産キャベツ920個（約14万円相当）を寄贈</p> <p>平塚青年会議所、しんわメッセからトマト小松菜パン寄贈により山下、港小学校で『たなバーガー』（たなばた飾りをイメージしたハンバーガー）を給食で試行</p> <p>中学校業者弁当導入のための試行2校はじまる （山城と土沢。太洋・浜岳はパン販売を追加）</p> <p>26年度実施のための平塚共済病院の村藤医師、平塚市医師会の梅沢医師の協力を得て、「学校給食における食物アレルギー対策検討会」開催</p> <p>「平塚市立小学校給食における食物アレルギーの対応マニュアル」3月完成</p> <p>26年度から共同調理場外部委託準備（プロポーザル方式により業者選定）</p> <p>消費税引き上げに伴う給食費の検討始まる</p> <p>「平塚市立小学校給食における食物アレルギーの対応マニュアル」3月改訂版完成</p> <p>26年 給食費3700円→3800円 1食あたり 222円→228円</p> <p>東部・北部共同調理場ともに(株)東洋食品へ業務(調理、配送、配膳)委託</p> <p>『たなバーガー』が標準献立になる</p> <p>鶏卵、乳・乳製品のみについて食物アレルギー対応を7月から開始</p> <p>富士見小学校が学校給食優良校として表彰される</p> <p>第5回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」</p>
--	--

		<p>中学校業者弁当導入（大野、神田、中原、大住、旭陵） ワールドカップメニュー市内全校に提供（6月） ベルマーレ応援メニューを児童から募集し、優秀賞を給食で提供（9月） やまゆりポーク生産者協議会より山下小学校へやまゆりポークロース切り身30kg 寄贈（ふれあい給食実施） JA湘南キウイ生産者部会より吉沢小学校にキウイの寄贈（ふれあい給食実施） 「湘南ひらつかグルメ博」に出店し、本市の小学校給食をアピール（4月） 第6回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」（7、8月） 湘南ベルマーレ選手プロデュース給食の実施（7、9月） 鶏卵、乳・乳製品の他「えび」について食物アレルギー対応を10月から開始 勝原小学校が学校給食優良校として表彰される（10月） やまゆりポーク生産者協議会・平塚畜産会よりなでしこ小学校へやまゆりポークロース切り身26kg 寄贈（ふれあい給食実施）（2月） 中学校業者弁当の全校導入（春日野、神明、江陽、金旭、金目、横内で販売開始）</p>
27年		
28年		<p>ベルマーレ応援給食（27年度2月応募作品から）（7月） 第7回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」（7、8月） 横浜ビー・コルセアーズ応援給食を開催（7、2月） 港小学校が学校給食優良校として表彰される（10月） (株)フリーデンよりウイナー寄贈（金目小学校でふれあい給食）（11月） リトアニア共和国大使夫妻をお招きしたふれあい給食（港小6年）（11月） やまゆりポーク生産者協議会・平塚畜産会より真土小学校へやまゆり豚もも肉スライス24kg 寄贈（ふれあい給食実施） この日、米は「特Aのはるみ」を使用（2月） ベジタマもなかを給食で使用（松延小学校）（3月）</p>
29年		<p>29、30年度の2年に亘る中学校昼食検討委員会が発足 全校でベジタマもなかを使った給食を実施（5月） 第8回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」（7、8月） 湘南ベルマーレ選手プロデュース給食の実施（9月） 山下小学校が学校給食優良校として表彰される（10月） (株)フリーデンよりウイナー寄贈（南原小学校でふれあい給食）（11月） 横浜ビー・コルセアーズ選手プロデュース給食の実施（2月） やまゆりポーク生産者協議会より富士見小学校へやまゆりポーク豚もも肉スライス30kg 寄贈（ふれあい給食実施）（2月）</p>
30年		<p>4月から勝原小学校の調理場を(株)サンユーへ調理業務委託 第9回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」（7、8月） 8月中学校昼食検討委員会の結果を市長へ報告（完全給食で共同調理場方式が望ましい） 9月議会で市長より中学校給食推進が発表される ベルマーレ応援メニューを児童から募集し、優秀賞を給食で提供（9月） JA 湘南より山下小学校へ平塚産米「はるみ」40kg 寄贈（1月） (株)フリーデンよりウイナー寄贈（勝原小学校でふれあい給食）（1月） やまゆりポーク生産者協議会より八幡小学校へやまゆりポーク豚もも肉スライス30kg 寄贈（ふれあい給食実施）（2月） PEN食器を導入（松延小学校）</p>
31年		<p>4月から松延小学校の調理場を(株)サンユーへ調理業務委託</p>
令和 元年		<p>6月に中学校給食推進担当発足 第10回「中学生自分で作るお弁当コンテスト」（7、8月） 湘南ベルマーレ選手プロデュース給食の実施（9月）</p>

	<p>給食提供回数2回増加のため給食費500円追加徴収を行う（10月） （株）フリーデンよりウインナー寄贈（岡崎小学校でふれあい給食）（11月） やまゆりポーク生産者協議会より崇善小学校へやまゆりポーク豚もも肉スライス 48kg 寄贈（ふれあい給食実施）（2月） 給食提供食の放射性物質検査を終了（3月） PEN食器を導入（港小学校、勝原小学校、山下小学校） 新型コロナウイルス感染症拡大により非常事態宣言が発令され学校臨時休業、これに 伴い給食提供も中止となる（3月）</p>
--	---